

人工林健全化に対する森づくりの事例

事業名：環境貢献林整備事業

市町名：竹原市

取組のきっかけ・経緯

・尾三森林組合の芸南支部から人工林健全化の補助申請が提出され採択を行い、市内3箇所を実施した。

今後の展開

・同様の事業を今後も展開する予定であり、尾三森林組合に手付かずの人工林の候補地についてお願いしている。

取組の内容

- ・事業主体：竹原市
- ・契約期間：令和3年12月1日～令和4年3月30日
- ・場所：竹原市内3箇所
- ・業務委託先：尾三地区森林組合
- ・業務金額：873千円

【整備後】



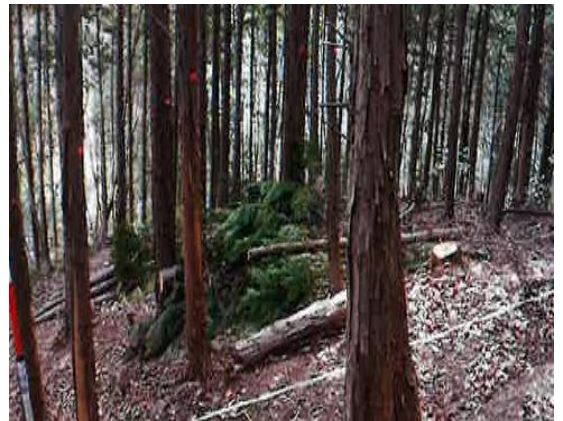
取組後の感想

【良かった点】

・人工林健全化事業を行い健全化が図られた。

【今後の課題】

・竹原市の人工林は少なく、手付かずのものが少なくなっている。今後、環境森林譲与税の森林経営管理制度との調整が必要。



市内小学校での森林に関する体験活動の事例

事業名：森林・林業体験活動支援事業

市町名：竹原市

取組のきっかけ・経緯

- ・広島県産の木材の利用促進や、森林を守り育てる担い手の育成促進の一環として、小学校で作りたい物の要望を聞いて、県産木材で作成された製品の組み立てを小学生に行ってもらった体験授業を実施している。
- ・令和3年度は小学校6校と学園2校が参加し、紙芝居により森林(人工林)について学んだ後、製品の組み立てを行った。

取組の内容

- ・事業主体：竹原市
- ・実施期間：令和4年1月～2月
- ・実施場所：各小学校及び学園
- ・制作物：移動式掲示板、パンフレットラック、丸椅子、入場・退場門、木製プランター入れ、本棚
- ・部材制作者：太田川森林組合
- ・業務金額：1,738千円



今後の展開

- ・毎年、この事業を続け、森林についての理解を子どもたちから深めていき、山の大切さを感じてほしい。

取組後の感想

【良かった点】

- ・子どもたちが、木に触れ合い、楽しそうに組み立てを行っていた。木のおいを嗅ぐ機会も少なくなっており、良い授業だと感じた。子どもたちからも「楽しかった。良い匂い。」などの声が上がっていた。学校も、欲しいものを依頼しており、過去に制作したものについて、備品として大切に使用されていた。

